

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アンの家神戸			
○保護者評価実施期間	2025年12月4日 ~ 2025年12月27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	2025年1月16日 ~ 2025年1月17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月20日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる居場所	将来の自立に向け、自分のことは自分で決められるよう、選択の場を増やす	本人が自分の意見を言えるようサポートする
2	学習支援	学年の学習でなく、一人ひとりのレベルに合わせた学習支援を行っている	一人ひとりに合った教材を精選し、本人のペースに合わせて進める
3	中高生中心のデイサービスなので、同世代の人と交流できる	友達は欲しいけど自分から話しかけられない人が多いので、本人が希望すれば指導員が間に入って繋ぐ	小人数の中でコミュニケーションに自信をつけ、他での人間関係にも繋がるようにする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングを実施していない	実施できる職員がいない	希望する保護者がいれば、外部の施設を紹介する
2	親の会を実施していない	個人情報等もあるし、ニーズ自体を把握できていない	保護者から要望があれば検討する
3	外出やイベントを実施していない	教室での活動を希望する人が多い	利用者から要望があれば検討する

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		放課後等デイサービス アンの家神戸						
		公表日 2026年1月20日						
		利用児童数 28名						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	3	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	0	0	1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	0		
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	5	0	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	6	12		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	5	8	・やっているなら教えてほしい ・父親が他人の意見に聞く耳を持たないので、しなくてよい	要望があれば、事業所内での開催が難しい場合は、外部の会を紹介する
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	23	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	0	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	11	10	保護者同士の意見交換や交流の場が、指導員を交えてあってもよいと思う	前向きに検討する

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1	0	0	・思春期ならではの対応の仕方や、進路についての相談支援があれば有難い ・本人・保護者それぞれ別で定期的なカウンセリングがあつてもよい	保護者からの相談にはその都度対応しているので、相談しやすい雰囲気づくりに努める
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	3	1	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	4		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	0	・子どもが明るくなり、利用を楽しみにしている ・保護者、本人それぞれのカウンセリングや進路相談・意見交換があつてもよい ・居心地のよい居場所と見守ってもらい感謝している	今後も自発的に通所できるよう、一人ひとりのニーズに対応できるよう努める
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0	・保護者、本人それぞれのカウンセリングや進路相談・意見交換があつてもよい ・居心地のよい居場所と見守ってもらい感謝している	今後も本人と保護者のニーズを理解し、対応できるように努める

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス アンの家神戸				公表日	2026年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	状況に応じて別室を使用する	今後も状況に応じて対応する	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	法令を遵守している	今後も法令を遵守する	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	室内はバリアフリーであり、活動に集中できる配置を心掛けている	利用しやすい配置を心掛ける	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎朝清掃・消毒をしており、共通で使用するPCも使用の度に消毒している	今後も安心・安全に過ごせる空間づくりに努める	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	聴覚過敏や大人数が苦手など、それぞれの状況に応じて別室やパーテーションで仕切られたスペースを使用している	今後も状況に応じて柔軟に対応する	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎朝全職員でミーティングを行い、情報を共有している	今後も全職員によるPDCAサイクルを実施する	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	今回の保護者向け評価の結果を全職員で共有している	今後も保護者からの意見を職員間で共有し、業務改善につなげる	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	ミーティング以外でもその都度気付いたことがあれば意見を出すようにしている	今後も一人ひとりが意見を気軽に言える環境づくりに努める	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	現時点で第三者による外部評価は行っていない	今後状況に応じて検討する	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	社内研修だけでなく、外部の研修にも参加する機会を設けている	今後も研修や勉強会に参加する	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	HPで支援計画を公表している	状況に応じて支援計画の変更・見直しを行う	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者や本人のニーズを把握し、支援計画に反映できるよう、アセスメントを定期的に行っている	日頃から保護者や本人とのコミュニケーションをはかり、ニーズを把握したい	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別支援計画の作成は、指導員の意見も聞きながら行っている	今後も全職員が参加し、チームとして作成する	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	支援計画はいつでも確認できるようにしている	今後も職員間で支援計画を共有し、共通認識の下で支援を行う	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	発達検査の結果や日々の様子の観察、会話等様々な視点からみるようになっている	今後も幅広い視点から子どもの状況をみれるようにしたい	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	支援計画は「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の各項目を設定し、作成している	今後もガイドラインに沿った内容で適切に作成する	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	それぞれが自分にできること、得意なことから活動内容を考えている	今後もチームとして共通理解の下、活動内容を考える	

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	利用者の希望も聞きながら活動内容を考えている	今後も一人ひとりのニーズを活動プログラムに反映する
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせるようにしている	状況に応じて個別活動と集団活動を適切に行っていく
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎朝全職員参加のミーティングを行い、当日の利用者と活動内容を確認している	今後もチームとして共通意識を持つて支援する
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	利用者の活動内容や活動時の様子を記録しており、必ず目を通すようにしている	今後も全職員で情報を共有する
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	利用者ごとに日々の記録を詳細にとっており、活動内容に反映させている	今後も記録をとることを徹底する
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年ごとにモニタリングを行い、支援計画の見直しをしている	今後も適切にモニタリングを行う
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0		
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	将来の自立に向け、今のうちから自己決定力を養うため、選択の機会を設けている	今後も自己決定力が身に付くようサポートする
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	支援会議やカンファレンスには毎回参加するようしている	今後も支援会議には積極的に参加する
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	協力医療機関は近隣のアンの家をよく知っている医院であり、連携し支援を行う体制が整っている	今後も各機関と連携し支援を行う
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	送迎を行っていないため当てはまらない項目もあるが、下校時刻や行事は職員間で共有している	今後も必要に応じ適切に学校と情報共有を行う
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	利用者が小学校高学年以上ため、就学前の利用施設との連携はしていない	今後小学校低学年の児童の利用があった場合は、適切に連携する
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	卒業後も福祉サービスを利用する方は、関連施設と情報共有をしている	今後も関係機関と連携し、一貫した支援が続くように努める
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	必要に応じ研修にも参加している	今後も関係施設とは適切に連携する
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	利用時間の関係もあり、放課後児童クラブや児童館との交流は難しいところもあるので、必要に応じ連携する通信制高校と交流する機会があればよい	通信制高校の行事で参加できそうなものがあれば紹介したい
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	地域の自立支援協議会に参加している	今後も会議や研修に積極的に参加する
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	毎回利用時には報告メールを送り、情報を共有している	今後も保護者との連絡を密にする
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	ペアトレを行える職員がいないのでこれまで実施したことはない。	要望があれば外部のプログラムを紹介する
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に必ず書類を提示し説明している	今後も丁寧な説明を心掛ける
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	支援計画の作成前には必ず面談を行い、本人や家族の意向を反映させている	今後も保護者と本人の意向を最優先に支援計画を作成する
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	支援計画を作成した際は、必ず保護者の同意を得ている	今後も保護者からの同意を必ず得る

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	保護者からの相談にはその都度面談や電話、メール等で応じている	今後も保護者からの相談にはその都度適切に対応する
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	父母の会や保護者会は現時点では開催していない	今後保護者からの要望があれば検討する
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情があった場合は適切に対応する	苦情があった時は職員間で共有し、迅速に対応する
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	1	HPやブログで情報発信をしている	定期的にブログの更新をすることを心掛ける
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	契約時に個人情報に関して書面で説明し、署名・捺印してもらっている	今後も職員一人一人が守秘義務について理解し、個人情報の取り扱いに配慮する
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	場面緘默の利用者にはホワイトボードを利用するなど、本人にできるだけ負担のない形で正確にやり取りできるよう心掛けている	今後も一人ひとりの状況に応じ、適切な意思疎通の方法を使用する
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	これまで事業所に地域の住民を招待したことはない	今後必要に応じて検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各マニュアルを作成し、共有している	今後もマニュアルに応じて適切に訓練を行う
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを作成し、定期的に避難訓練を行っている	今後も定期的に避難訓練を行う
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に服薬や発作等について確認し、職員間で共有している	今後も利用者の健康状態を把握し、情報を共有する
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	アレルギーについて確認できているが、飲食の提供は行っていない	今後もアレルギーについて職員間で共有する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、利用者の安全に留意している	今後も利用者が安心して安全に利用できる環境を提供することを心掛ける
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時に安全計画について説明している	今後も家族に安心して子どもを預けてもらえるよう、安全な環境づくりに努める
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットが該当する事案が発生した場合は、速やかに報告書を作成し、原因究明と再発防止に努める	職員同士での声掛け、ダブルチェックを習慣化し、事故の発生防止に努めるとともに、事故が起った場合は速やかに対応する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	社内に虐待防止委員会を設置し、定期的に研修を行っている	今後も定期的に研修を行い、虐待防止に努める
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	いかなる場合も身体拘束は行わない	今後も身体拘束は行わない